

# 富山きでん



## CONTENTS

- 会長メッセージ…………… 2
- 部会活動の紹介…………… 3
- 2005年度定時総会を開催…………… 8
- 定時総会 会長挨拶…………… 8
- 事業活動報告…………… 10
- 新会員の紹介…………… 13
- 会員の動き…………… 13
- シリーズ 新会員企業紹介…………… 14
- シリーズ 海外進出企業紹介…………… 15
- 青年部会 通常総会(第1回)…………… 16
- 中欧研修視察報告…………… 16
- 中小企業との対話集会を開催…………… 18
- 業況(DI) 調査結果について…………… 18
- 行事予定…………… 19
- 新会員の募集…………… 20

2006  
夏  
Vol.002

## ロボットは何処へ

会長 井村 健輔



日本の経済は、昨年から今年2006年にかけてようやくデフレと悲観の局面から脱け出し、一部では、『日はまた昇る』とさえ喧伝されています。青い目に云われる前に、もっと日本人自身で自信をとり戻すくらいの気概があってもいい。その典型がロボットです。

現在、ロボットの大部分はものづくりの現場で活躍しています。製造業にのしかかるグローバルな市場競争の渦の中にあって、ロボットの役割がますます期待されています。

ロボット業界は自動車と電子電機産業の内外での活発な設備投資に支えられ、これに欧米諸国への輸出、中国関連の需要も出てきて、好調に推移しています。2003年からの、日本の産業用ロボットの生産をみますと、2003年4,936億円、前年に比し26%の伸び、2004年は5,891億円、19%の増加、そして2005年は6,670億円、13%の伸びで、これは2000年の6,475億円を超え業界のレコードです。因みに内訳は、電子関連の実装機2,266億円（構成比34%）、アーム型のマニピュレーター（いわゆるアーム型）3,925億円（59%）です。今年の見通しとしては、足許の需要は根強いものがあり、6,800億円という生産レベルを達成できそうです。

世界三極での、日本のものづくり産業のポジションは、今世紀に入って、より確かなものになっています。ジャーナリズムでとり上げられる人気は、端的にいいますと1番はクルマの話題、2番は薄型テレビへの関心です。ところで、このクルマ、TVを支えているものは産業機械分野の広い蓄積です。産業機械は、大きいものから建設機械、鍛圧機、工作機械、射出成形機、産業用ロボット、製紙・印刷機械・・・金型、

ベアリング、精密工具と多岐多様にして、必要不可欠のキーテクノロジー分野です。

横くぐりで、ランダムに2006年の日本の生産額をみますと、建設機械1兆8,400億円、工作機械1兆3,000億円を筆頭に、ベアリングとロボットが並んで6,800億円、油空圧6,500億円、切削工具5,300億円、射出成形機2,000億円となっております。これに、日本の世界の中でのウエイトをとり出してみると、面白い“産業の地政”が描けるわけです。

さて、世の中の人気は、昨年の愛知万博のインパクトもあって、相当、ロボットに集まっています。いわゆる人間の姿に似せようとしている、ヒューマノイド型のロボットに対する関心と、RT（Robot Technology）との結び付きを、経済性のもとより、安全性、継続性、使い勝手とメンテナンスなどの面から検証が不可欠です。これまで、ペット型やあいさつ応答型、走行型など人寄せパンダ的な人気の先走りで、産業用ロボットメーカーとしては、係わりにくい、敬遠したい状況にあります。先日、CNNテレビニュースで面白いロボットの使い方、アブダビでのラクダレースの騎手を、中近東の少年から、ロボットに代えようというものです。この背景には、少年たちの人身売買もあるようです。この例をどう見るか。

私が提唱したいのは、これまでの主流のカスタマーである自動車と電子業界の対極に、いきなりヒューマノイド型を置いてという構図では、ビジネスとしての可能性は論議しにくい。まず、第一には日本のものづくりを支える製造業、サービス業の現場での人間労働の代替、従来の専用機器の代替という分野を対象としてと

りあげることが、社会の要請につながる。その意味で、ロボットの活用という原点に帰って、地道なR Tの積み重ねに努めること、これがロボット関連産業の本筋です。例えば、“3 K”という言葉は、現在はあまり使われなくなりましたが、これからも3 K職場への適用が大事です。

いま、少子化の話題だけはさわがしいけれども、成熟社会に人口減少は当然と割り切った方がいい。年率でならずと0.7%くらいの人口の減少は、ロボットにプラス移民などで十分補えるレベルでもある。自動車、電子分野での普及と人間型での話題づくりの中間に、R Tの大きな市場がある、この開発・開拓こそ、本命のテーマです。

いまのところ、ロボットは設備財としての生

産額では工作機械の後塵を拝しています。しかし、2006年7,000億円をベースに2010年には、ロボットを使う垣根がとり払われて、次世代ロボットも加わってくるでしょうから、1兆円は期待できそうです。

1番人気は設備投資の旗手、工作機械でいい。ロボットはそれに雁行して、幅広い分野の開拓に力を注ぐことにしたい。何故なら、1番人気はオッズが低くて儲けにつながらないから。

R Tこそ、日本のお家芸に仕立てうる知価です。この知価を応用する領域を広める地道な活動を、ものづくりに係わる企業から発信して行きたい。

(日本ロボット工業会 会長就任あいさつから)

## 部会活動の報告

### 経営部会



部会長：松田 登  
ファインネクス(株)  
代表取締役社長

経営部会では3月にセミナー開催し「すごい会議のやり方」で150名余り参加され、引き続き7月13日松下幸之助から経営道を直伝された木野親之先生をお招きし、「会社経営と理念」についてご講演いただきました。

『経営理念』が確立されていない会社は、大きな変革期や逆境に脆く永く繁栄することが出来ない。なぜなら事業経営の根幹はその企業の存在価値そのものだからである。従い経営理念で事業成功の80%は決まるとのことでした。

次回テーマは未だ部会で決定していませんが、会員のお役に立てるものになりたいと考えております。



部会員：23名

## 流通部会

部会長：橋爪 彰一  
北陸電気工業(株)  
管理本部資材部部長



会員のみなさん、はじめまして。

流通部会長の北陸電気工業(株)の橋爪です。私は5年前に海外(中国)勤務より戻り、現職場資材部に勤務しています。今も年に3~4回中国に出張し、海外部材調達推進に努力しています。

さて流通部会ですが、テーマは幅広く(調達・物流・技術動向など)興味ある活動ができる部会と思っています。流通部会のみなさんの協力を得、また私の海外経験も活かし、セミナー・国内外の企業視察など企画し活気ある部会としていきたいと思ひます。また、機電工業会として新しくスタートを切ったことすし、新しい感覚で活動ができればと思ひます。私自身まだまだ経験不足・勉強不足で未熟ですが、いろいろな人の意見を聞きながら部会をまとめていきたいと思ひますので、会員のみなさんのご指導をお願いいたします。



部会員：11名

## 環境部会

部会長：吉中 英夫  
立山科学工業(株)  
CS品質推進部 執行役員



地球温暖化、資源枯渇、オゾン層破壊などの地球環境問題から、廃棄物処理場不足、土壌汚染、水質汚濁などの国内や地域環境問題まで、今、企業は環境への影響を無視して事業を展開することは不可能になってきております。

山にも海にも緑にも水にも恵まれた富山県の豊かな自然環境の中で、このような問題を共有して情報交換を活発に行ないながら、会員の皆様の“持続的”発展のお役に立てるよう努めたいと思ひます。環境部会では県内外の先進的な企業の見学会環境経営などのセミナーの開催・団体等の交流会また、会員企業の抱える課題の情報共有など他の部会と連携しながら進めてまいります。なお、会員皆さんの環境部会への参加もお待ちしております。



部会員：11名

## 生産部会

部会長：砂原 潤治  
藤堂工業(株)  
専務取締役



生産部会は旧機械工業会の生産革新委員会と旧電子電機工業会の技術委員会研究会の活動を引き継ぎ、生産性の向上および品質向上等の取り組みと新技術開発情報の収集等を支援することを活動の目的にしています。

先般、長野県諏訪地区を中心に活動を広げられているDTF（デスクトップファクトリー）研究会との交流会を県内にて行ないましたが、今後も県内外の先進的な企業の見学・団体等との交流など、他の部会の活動・事業との連携しながら進めてまいります。



部会員：12名

## 交流部会

部会長：安田 勲  
コーセル(株)  
第二開発部グループ  
マネージャー



交流部会の一番大きな活動の企画としては、産学連携で「ものづくり新技術開発等事例発表会」開催準備があります。昨年度の事例発表会では、旧電子・電機工業会の分野だけでなく、機械工業会分野の発表も加わり15件の応募と150人越える聴講者で大きな成果を上げることが出来ました。今年度は更に応募区分・審査区分を広げ多くのテーマを募集をしていきます。

また、各種大学を訪問し産学連携の取り組みや学校施設見学を実施していきます。なお、他の部会の産学連携支援も進めてまいります。交流部会へ会員皆さんの積極的な参加をお待しております。



部会員：10名

## 研修部会

部会長：森下 正  
 (株)不二越  
 開発本部 副本部長



企業の存続・発展において、行き着くところは「ひとつづくり」です。

研修部会では、ものづくり講習会・企業見学会を開催し、人と人のふれあいを通じ、ものづくりのすばらしさ・学ぶことの大切さ・社会への貢献を理解して戴き、人材育成に役立ちたいと考えています。

このため、講習回数を昨年より2回増やし、単に企業だけでなく県内外の大学の協力も入れた講習会・見学会を企画しました。また、県内外の先進的な企業見学会・交流会など進めていますので、部会活動への参加をお願いします。



部会員：13名

## ものづくり講習会（第2回）の科目と日程決まる

### 特徴

- ①従来まで、機械工業会を中心とした講義科目であり基礎教育が主であった。  
 電子・電機工業会と合併により、新規科目として制御・センサー・ロボット制御を組み入れ充実をはかる。
- ②産学連携強化として、学の講師と科目、そして会

場の提供を受ける。

- ③講義科目に、環境経営・知的財産・最新加工技術を追加し、内容を豊かなものへ。
- ④受講回数を8回から10回講義に拡大。
- ⑤受講会場を近代化する。(大型スクリーンの更新、大会議室用プロジェクター導入など)

日	時	会場	科目	講師(敬称略)	内容	
1	9月15日(金)	富山技術交流センター	13:10~13:30	開講式	(社)富山県電機工業会	ものづくり講習会ガイドランス
			13:30~15:10	切削加工(1)	キタムラ機械(株) 専務理事 神田 信一	高速・高能率加工
			15:20~17:00	バリ取り加工	関西大学教授 工学博士 北嶋 弘一	バリ取り加工技術
2	9月22日(金)	富山技術交流センター	13:30~15:10	研削加工	(株)ノリタケボンデットアブレーション レジノイト 砥石技術部 松波 嘉典	研削加工全般(基礎・理論から応用編)
			15:20~17:00	精密加工・レーザ加工	(株)日平トヤマ アプリケーション技術課 次長 今井 聡	超精密加工・レーザ加工他
3	9月29日(金)	(株)スギノマシン 早月工場	13:30~15:50	精密機械加工 特殊加工	(株)スギノマシン 精機事業部設計課技術提案係リガー 中島 英裕 WJ事業部設計課JC設計係リガー 浅野 祐二	小型マシニングセンタによる精密加工 ウォータージェットによる特殊加工
			16:00~17:00	工場見学	(株)スギノマシン	工場見学、加工実演
			13:30~15:35	電気・電子制御	北陸職業能力開発大学校 電子技術科 講師 小池 靖子	電気・電子制御の基礎
4	10月6日(金)	北陸職業能力開発大学校	15:40~17:00	学校見学	北陸職業能力開発大学校	実験室、実習棟見学
			13:30~15:10	工業材料	田中精密工業(株) 顧問 高木 善昭	環境規制下(鉛規制)における快削銅
5	10月13日(金)	富山技術交流センター	15:20~17:00	工業計測	(株)不二越 品質保証部 計測課課長 山本 洋	計測技術の基礎
			13:30~15:30	物体認識技術	富山県立大学 工学部 助手 中田 崇行	物体三次元データ取得と位置姿勢認識技術
6	10月20日(金)	富山県立大学	15:40~17:00	学校見学	富山県立大学	研究室、作業棟、図書館見学
			13:30~14:30	切削加工(2)	(株)不二越 歯切アロチ技術部 係長 松長 靖則	加工工具(穴加工と歯切り加工)
7	10月27日(金)	(株)不二越 富山事業所	14:35~15:35	ロボット制御	(株)不二越 ロボット製造所 開発部長 蟹谷 清	工業ロボット
			15:40~17:00	工場見学	(株)不二越	工場見学、加工実演
			13:30~15:10	工場見学	Y K K (株)	工場見学
8	11月10日(金)	Y K K (株) 黒部事業所	15:20~17:00	環境経営	Y K K (株) 環境・安全衛生グループ長 横倉 滋	YKKグループの環境経営
			13:30~15:10	鋳造・塑性加工	アイシン新和(株) 製造技術グループ 担当 松倉 勝 アイシン・メタルテック(株) 改革推進室副室長 岩井 宏行	鋳造・鍛造・塑性加工技術
9	11月17日(金)	富山技術交流センター	15:20~17:00	熱処理・コーティング	(株)不二越 サーモテック部チーフ 三谷 状士	表面改質技術
			13:30~15:30	工業所有権	(株)不二越 開発本部 開発企画部 特許室 室長 西本 純一	特許、意匠、商標 他
10	11月24日(金)	富山技術交流センター	15:40~17:00	技術講話	(株)不二越 開発本部 副本部長 森下 正	ものづくりの楽しみと社会貢献
			17:00~17:20	修了式	(社)富山県電機工業会 技術委員長 田中 一郎	修了書授与
			13:30~15:30	修了式	(社)富山県電機工業会	修了書授与

## 情報企画部会

部会長：藤木 莊樹  
株トッパンNEC  
サーキットソリューションズ富山工場  
執行役員工場長



昨年'05/11にはアンケートによる活動ニーズ調査を行ない、'06/02には企業見学会（マクセル北陸精機株式会社訪問）また、今年度に入ってから'06/07にはインテック大山研修センター内合宿セミナーを開催しました。更に、この秋には企業見学会も計画しています。

先のアンケートでも、企業見学会・セミナー（システム導入事例紹介/I T技術等）に関するニーズが圧倒的に多く、これらを基本とした活動にしばらくは特化したいと考えています。

この部会活動に参加していただくことにより、この部会を新しい情報交換の場として、また知識向上の場として活用していただければと考えています。



部会員：17名

## 情報技術部会

部会長：申田 新二  
株ユーコム  
本社ソリューション営業部  
課長代理



情報委員会・情報技術部会（I T部会）部会長の株ユーコム 申田です。

主な活動は、会員企業へのI Tに関するよりよい情報発信・ホームページ導入支援説明会開催・工業会のt-kidenホームページ更新サポート・会員相互のI T勉強会等を今期のメインテーマとして活動しております。工業会のホームページは4月に新設発信ができ、その後、会員情報としてトップページで最新情報・事業案内等の掲示を進めた。旧電子・電機工業会の皆様はご存じのI T部会ですが、旧機械工業会の皆様にはまだなじみの薄い部会であり、部会員数もまだまだ少ない状況です。月一回の部会活動を行なっておりますので皆様の参加お待ちしております。



部会員：11名

## 2005年度 通常総会を開催

第2回通常総会は平成18年5月31日（水）午後4時から富山全日空ホテルにおいて開催された。

出席は会員227社のうち、出席130社、委任状93社、合計223社となり、本総会の成立を確認し、引き続き井村会長を議長選出を行ない議事に入り平成17年度事業報告、同収支決算報告と役員選任及び変更について審議し、原案通り承認された。

総会終了後、国際会議場にて世界的なジャズ・ピアニスト 山下洋輔氏とバイオリニスト 松原勝也氏を招いて「経協・機電ジョイントコンサート2006」を開催し、引き続き富山全日空ホテルで両団体合同の懇親パーティーを開催した。

### ■議案

審議に入る前に、議事録署名人に岩黒正孝理事と梅田ひろ美理事の2名を選任した後、議事に入った。

#### 第1号議案「平成17年度事業報告について」

平成17年度は、同年7月合併発足という経緯を踏まえ、前両工業会事業の引継をあわせ活動内容の報告が行なわれた。

#### 第2号議案「平成17年度収支決算承認の件」

一般会計と事業会計を合計した総合収支では、

収入合計 81,885千円

支出合計 76,323千円

差引合計 5,562千円 となり、これを次年度繰越金とする。

第2号議案に関し、監事の高盛博義氏から会計監査報告が行なわれた。

#### 第3号議案「役員を選任及び変更について」

理事1名および監事1名の辞任に伴い新理事および新監事を選出し原案通り可決承認された。

なお、理事3名の交替も承認された。

なお、井村会長から、今年の総会以後に叙勲及び



国家褒章を受章された会員の方が紹介された。

・黄綬褒章 谷口 貞夫氏  
(株式会社北陸精機 代表取締役)

## 定時総会 会長挨拶

日本の機械産業をとりまく環境は、2008年頃までは大筋において、いい状況にあると思われる。日本の機械産業がグローバル化のなかで、確固たる地位を占めてきた。

ここで2点、考えておかなければならない。

第1は、原油高に代表される資源問題、為替、通商問題、中国をはじめとするBRICs諸国の成長などに対して、楽観的な展開を期待しないほうがいい。

第2は、経済外的なファクター、国際政治情勢や民族問題などの紛争によって、かく乱される可能性が決して低くないということ。

ところで「日はまた昇る」と言われているけれども、日本国内の認識は、やっとデフレを脱却して

「朝方」くらいという見方が多い。しかし、日はすでに昇って午前10時頃になっているのではないかと思われる。

そうした状況の中で、企業経営は拡大指向よりも、確実に足許を固めることが大事である。有力企業の中には、中期戦略としてM&Aを企画し、株式市場やIRが、これを助長している。マネーゲームが企業戦略の中に入り込んできており、必ずしも歓迎できない風潮である。

企業経営にあたっては、なにより体質を強じんにし、守りを確かなものにすると同時に、前向きな姿勢で施策をすすめて行く。この経営バランスが問われている。





挨拶する井村会長



経協・機電合同懇親パーティー（富山全日空ホテル）



経協・機電ジョイントコンサート（富山国際会議場）



山下洋輔：松原勝也氏の色紙

## 事業活動報告 (平成18年4月～8月)

### ■MEX金沢2006視察

- (1) 日 時 平成18年5月19日 (金) 10:00～15:00
- (2) 場 所 石川県産業展示館
- (3) 参加者 15名 (見本市実行委員)
- (4) 内 容 「ものづくり爛漫」をテーマに、MEX金沢2006は、石川県産業展示館3・4号館にて5月18日 (木) から3日間開催された。当工業会の見本市実行委員15名で「とやまテクノフェア2007」開催の準備として、関連施設・出展会社・集客状況を調査と記念セミナー「松下資料館館長の講演」を聴講した。



### ■DTF研究会との交流会

- (1) 日 時 平成18年6月14日 (水) ～15日 (木)
- (2) 場 所 (株)不二越富山事業所、(株)スギノマシン早月工場
- (3) 参加者 DTF研究会 (13名) 当工業会の技術委員会メンバー (18名)
- (4) 内 容
  - ①交流会等 (14日:30名)
    - ・不二越富山事業所見学会 (ロボット、プロチ新工場)、交流会、懇親会実施
  - ②企業見学会 (15日:31名)
    - ・スギノマシン早月事業所見学会 (高圧ジェット洗浄、超高压水切断等)



- (5) 効 果  
域外団体との交流を通じ、情報交換を始め、当工業会のステータスの向上に資する。
  - ・DTF (デスクトップファクトリー) 研究会:長野県諏訪市 (2001年11月発足)
  - 18企業6機関で構成する産業クラスター研究会 (4分科会:加工、処理、情報、標準化)
  - 活動:講演会、企業訪問、事例研究、イベント参画 (諏訪圏工業メッセ、愛知万博等)

### ■ホームページ導入説明会

- (1) 日 時 平成18年6月8日 (木) 15:00～17:00
- (2) 場 所 富山技術交流センター 2F研修室
- (3) 参加者 14名
- (4) 内 容 ものづくりのためのインターネット活用法、会員のホームページ  
導入支援活動

当工業会の情報技術部会員で会員アンケートと未活用内容調査し、導入支援の講習会を開催した。

※ 本年度このあと、適宜説明会を開催し、HP導入促進をはかることとしている。



## 事業活動報告 (平成18年4月～8月)

### ■宿泊研修会

- (1) 日 時 平成18年7月7日 (金) 14:00～17:30  
(2) 場 所 (株)インテック 大山研修センター  
(3) 参加者 15名  
(4) 内 容

- ①情報化セミナー I (14:00～15:30)  
・「ユビキタス時代へのロードマップについて」  
岸 逸郎氏 (株)インテック 技術・営業  
統括本部参事
- ②情報化セミナー II (15:45～17:30)  
・「TNC Siの新生産管理システムについて」  
白方新洋氏  
(株)トッパNECカーキットソリューションズ 富山工場 情報システム課長

(5) 効 果

研修会を通じ、先進情報化技術を学習し、会員相互のスキルアップをはかる。

- ・ユビキタスネットワークの深化が、既存の社会経済システムの変革や技術進歩を加速させる。故に、まずユビキタス社会を認識することが大切。
- ・新基幹システムを構築させることで、工程管理の集約化やランニングコストの低減、営業システムとの連携等に寄与できる。
- ・交流会を通じ、会員相互の親睦と情報交換がはかれた。



### ■経営セミナーを開催

- (1) 日 時 平成18年7月13日 (金) 14:00～16:00  
(2) 場 所 富山全日空ホテル 3F 鳳  
(3) 参加者 120名  
(4) 内 容

- ・テーマ：「企業経営と経営理念について」
- ・講 師：木野親之氏 (松下電器産業(株) 終身客員)

(5) 効 果

著名な講師を招請し、企業経営のノウハウを研修する。

- ・21世紀経営とは。(リーダーシップよりパートナーシップが大切)
  - ・天道の経営が必要。(王道の経営に宇宙根源の法則が加わったもの)
  - ・成功の三原則 (経営理念の確立、個性を最大限に生かす環境作り、戦略戦術 等)
- セミナー修了後、木野先生の著書の販売とサイン会を開催。  
内容について、後日当工業会ホームページ上に記載します。



## 事業活動報告 (平成18年4月～8月)

### ■企業見学会

- (1) 日時 平成18年6月16日 (金) 13:30～16:00
- (2) 場所 藤堂工業(株)
- (3) 参加者 20名 (研修部会員他)
- (4) 内容 工場見学、質疑応答  
当工業会の研修部会員を中心に20名が訪問し、砂原専務の会社概要と中国工場などの説明後、2班に分かれ工場見学を行った。



### ■企業見学会

- (1) 日時 平成18年8月19日 (土) 10:00～12:00
- (2) 場所 (株)不二越 東富山事業所
- (3) 参加者 38名 (環境部会員他)
- (4) 内容 工場見学 (産業廃棄物処理工場等)、プレゼンテーション・質疑応答  
不二越油圧製造所の会議室で三和部長から不二越の産業廃棄物削減対策の取り組みと課題についてプレゼンテーションを受け、その後、2班に分かれ新工場の研削スラッジとクーラント分離による廃棄物を出さない工場管理システムの見学と勉強会を行なった。



### ■第3回ゴルフ大会

- (1) 日時 平成18年5月23日 (火) 9:32～スタート
- (2) 場所 魚津国際カントリークラブ
- (3) 参加者 36名
- (4) 内容 会員親睦をはかるための厚生事業  
当日は小雨の中、多くの会員参加で元気で楽しい親睦を深めることが出来ました。  
優勝 平野泰孝氏 マルマス機械(株)



### ■第1回親善ボウリング大会

- (1) 日時 平成18年7月2日 (金) 14:00～16:00
- (2) 場所 富山地鉄ゴールデンホール
- (3) 参加者 21組 (84名)
- (4) 内容 会員親睦をはかるための厚生事業  
中小企業会員を中心に参加しやすい休日開催で当工業会、総務委員会の岩黒社長の始球式で、多くの老若男女や中国研修生の参加で楽しい日を過ごせ、次回開催につながることを確信した。  
団体優勝 (田中精密工業(株))  
個人優勝 (西川信雄氏：田中精密工業)



## 新会員の紹介

総会員数：232社になる。(平成17年7月1日発足時208社から25社増える)  
 【平成18年4月1日～8月25日 8会員入会】 ※1社退会

会社名	代表者	設立 所在地	資本金 従業員 事業内容
(株)シーイーシー 中部事業本部第二中部システム部長 竹村徹也 (たけむらてつや)		昭和43年2月 富山市桜橋通り2-25 中部事業本部第二中部システム部 本社;東京都渋谷区恵比寿南1-5-5	6、586百万円 29人 情報系及び制御系ビジネス等 販売
(株)ナカノ 代表取締役社長 中野隆志 (なかのたかし)		平成2年7月 黒部市犬山213-1	10百万円 35人 輸送関係装置、ステンレス製缶 板金等設計製作
(株)エスケータック 代表取締役 中西清一 (なかにしせいいち)		昭和46年3月 黒部市前沢2420	10百万円 24人 ステンレス・アルミ製食品・医療機 器等設計製作
石崎産業(株) 代表取締役社長 石崎由則 (いしざきよしりのり)		昭和38年7月 魚津市大字大海寺野村1181	99百万円 321人 タンポール箱製造、産業廃棄物 中間処理、廃棄物リサイクル等
(株)小矢部精機 代表取締役社長 宮崎圭蔵 (みやざきけいぞう)		昭和44年6月 小矢部市渋江2020	45百万円 108人 自動車ボディ生産用設備等 自動省力化機械製造
三秀工業(株) 代表取締役社長 笠谷和宏 (かさやかずひろ)		昭和46年4月 高岡市上開発290	10百万円 53人 機械・装置・部品、電装機 器部品製作等
センダン電子(株)本社/福光工場 代表取締役社長 武田武美 (たけだたけみ)		平成元年9月 南砺市土生新1010	156百万円 206人 各種電子機器設計製造等
三協立山アルミ(株) 代表取締役社長 川村人志 (かわむらひとし)		平成18年6月 高岡市早川70	28、399百万円 3、450人 ビル用建材、住宅建材の開発 販売、アルミニウム等圧延加工等

## 会員の動き

### ■代表者(現・新)の変更(敬称略) 理事

- ・アイシン新和株式会社  
代表取締役社長 田代 充 (たしろ みつる)      代表取締役社長 中道雅忠 (なかみち まさただ)
- ・立山科学工業株式会社  
取締役 水林富雄 (みずばやし とみなり)      取締役 高村元二 (たかむら もとじ)
- ・株式会社日平トヤマ  
取締役富山工場長 鈴木正人 (すずき まさと)      管理本部取締役 野崎克樹 (のざき かつき)
- ・北陸コンピュータ・サービス株式会社  
代表取締役社長 水野憲一 (みずの けんいち)      代表取締役社長 岩田次雄 (いわた つくお)
- ・松下電器産業株式会社半導体社魚津工場  
工場長 村上勇雄 (むらかみ いさお)      工場長 西村一弘 (にしむら かずひろ)
- ・YKK株式会社  
代表取締役副会長 田家 清 (たいえ きよし)      上席常務黒部事業所長 松田 章 (まつだ あきら)

注) 理事の選任は平成19年5月総会決議で正式に決定。

### 会 員

- ・株式会社 旭工業  
代表取締役社長 前田 誠 (まえだ まこと)      代表取締役社長 前田泉樹 (まえだ もとき)
- ・サカキ産業株式会社  
代表取締役会長 酒井 博 (さかい ひろし)      代表取締役社長 酒井 猛 (さかい たけし)
- ・日立電線株式会社北陸支店  
支店長 伊藤有二 (いとう ゆうじ)      支店長 塗師康隆 (ぬし やすたか)

### ■社名の変更

- ・東洋物産株式会社から  
株式会社テクノアソシエ

### ■退会会員

- ・田島技研株式会社  
平成18年6月度

### ■逝 去

- ・サカキ産業株式会社  
代表取締役会長酒井博氏が平成18年6月21日逝去されました。享年60歳。

## 株式会社セイキ

URL:<http://www.seiki-toyama.co.jp/>

## 会社概況

代表取締役 田 辺 宏 継 ひろ つく  
 設 立 昭和51年7月  
 資 本 金 11.6百万円  
 従 業 員 110名 (18/7現)  
 所 在 地 魚津市東山167-1番地  
 T E L 0765-22-5211  
 F A X 0765-22-7049

## 沿 革

昭和51年7月 魚津市吉島に6名にて設立/治工  
 具製作  
 昭和54年10月 トギ電子(村田製作所)向け自  
 動機製作開始  
 平成3年8月 魚津市東山に本社工場移転、  
 CADシステム導入  
 平成12年6月 ISO9001取得  
 平成13年6月 ISO14001取得  
 平成16年7月 第2工場竣工、五面加工機導入、  
 大型部品の内製化開始

## 事業概要

当社はより高度な自動化機器の設計製作事業  
 に意欲的にチャレンジしています。社内におい  
 てはあらゆるムダを省き、「お客様にトータル・  
 コストメリットを与える」をモットーにこれま  
 でのイメージにとらわれない柔らかな思想と行  
 動力で取り組んでおり、幅広い産業分野のモノ  
 づくりに貢献していきます。

平均年齢29歳の若い会社であり自由闊達な社  
 風。また、社員数の30%を占める女子社員の  
 職務内容は男性社員と同等です。社員一人ひと  
 りのスキルアップが、会社の継続な発展につな  
 がると全社員が信じ、個々人の成長に対しては  
 こだわりを持って仕事をしていきます。

## 経営方針

1. 豊かな創造力と優れた技術で顧客満足ので  
 られる製品づくり。
1. 地域社会に貢献出来る企業を目指す。
1. 柔軟性と革新性を持ち続ける企業でありた  
 い。
1. 安心して働ける企業を目指す。



## 丸栄運輸機工株式会社

URL:<http://www.maruei-u.co.jp/>

## 会社概況

代表取締役 高 木 武 男 たけ お  
 設 立 昭和55年4月  
 資 本 金 48.3百万円  
 従 業 員 92名 (18/7現)  
 本 社 富山市婦中町道場39-8  
 T E L 076-466-9211  
 F A X 076-466-9200

## 機 械 工 場

富山市婦中町萩島3253

## 沿 革

昭和45年3月 個人にて高木産業創業  
 機械修理重量物据付け事業開始  
 昭和55年4月 丸栄運輸機工株式会社設立  
 昭和59年12月 婦中鉄工団地内に機械工場建設  
 機械修理他、新規専用機の設計  
 製作開始  
 平成5年5月 本社新社屋、車庫並びに倉庫建  
 設、同時に倉庫免許取得

## 事業概要

一般区域貨物運送事業  
 各種重量物運搬据付け事業  
 各種専用機械及び搬送装置設計製作 倉庫業  
 各種専用機械の設計・製作から運搬・据付・調  
 整まで一貫したサービス提供

## 経営方針

お客様に喜んでもらえる仕事をしよう!!  
 これが当社のモットーです。  
 5S精神を基本に、当社に関わる  
 すべての人の幸せを願いつつ、全社  
 一丸となって営業活動に取り組む。

## “5S精神”

Safty: まず安全に努めよう  
 Sure: 正確な仕事をしよう  
 Scrum: お互いに助け合おう  
 Service: 奉仕の精神を持とう  
 Speed: そして迅速に行動しよう



## 中部工営株式会社

取締役社長 川畑泰宣 かわはたよしのぶ

“エレクトロニクスのシステムプランナーとして富山から中国に向け  
電子工業資材・機器・装置の「販売からメンテナンスまで一貫した企業」”

## 沿革

- 1994年12月 上海浦東新区外高橋保税區に独資  
営業許可取得
- 1995年3月 上海及び周辺を主体に5名にて営  
業開始
- 1998年12月 富山―大連便就航に伴い大連地区  
に連絡事務所開設
- 2005年10月 業務拡大／華南地区福建省廈門經  
濟特區胡里工業団地に廈門事務所  
設立

## 会社の界限

当社事務所は上海市内より延安西路沿いに虹橋空港に向かって上海國際貿易センタービル内。上海日本領事館等にほど近く、地下鉄2号線の延長工事中、中環状線へのアクセスが良いところに位置しています。

付近は日本人居住区古北新区・日本人学校などがあります。

上海中部工営有限公司  
上海市天山路641号  
上海慧谷白猫科技园1号楼602A  
Tel ; 021-5206-5011  
總經理 中島浩一



## 事業の概況と特色

中部工営(株)独資企業として電子工業用資材、機器・装置の販売及びメンテナンスを主とし、1995年3月に上海で開業し、現在12期を迎えました。

開業当初は顧客も少なく毎日が新規開拓でしたが、現在は日本人2名とローカル16名で約250社の顧客を持ち、機器メーカーと販売提携し、技術サービスを実施。遼寧省に大連連絡所、福建省に廈門事務所を設立し、沿岸部中心に展開を進めております。

当初は日系企業を中心とした外資系企業が主でしたが、近年はローカル企業が技術力・資金力・信用力をUPしており、機器販売に関しては約50%をローカル企業と契約条件を前金、L/C等をベースとして取引しています。

今後は、①地域・市場拡大、②取り扱い商品の選別・増加、③地域別に商品のプライベートショー等を実施して業績拡大をめざしています。そのためにも会社の現地化は必須であり、ローカル社員が働きがいとやる気をもてる評価システム構築に挑戦しています。

経済に敏感な上海人スタッフと如何して価値観を共有していくか。共通の目標『夢』を持ち、互いのチャンスを活かすことが出来れば企業風土は良くなり、必ず業績に結び付くと信じております。

私自身中国に赴任して9年目になりますが、上海の変化・スピードには驚きの毎日です。

赴任当初、街を走る車は窓が開かないサンタナ、使い古したシャレードタクシーが殆どでしたが、今ではベンツタクシーが登場するなど、自家用車もかなり増え、高級外車がたくさん走っています。

上海万博開催に向けてインフラ整備も始まり今後益々、様変わりしていくと思われまます。

発展を続ける中国のスピードに遅れることなく、ビックチャンスを活かしたいと思っています。

## 青年部会 通常総会（第1回）

5月12日富山市内の全日空ホテルで総会及び記念講演会が開催された。

中川元部会長から第1号議案から第4議案が提案され満場一致で承認された。特に今年度は第4号議案の役員の変更年で新部会長に伊東潤一郎氏はじめ数名が選任された。



部会長 伊東潤一郎  
副部会長 齊藤 大助  
副部会長 岩田 茂子  
事務局長 梅田雄一郎  
スタッフ 大塚 智成  
          杉木慎一郎  
監 事 中川 元  
          平野 泰孝

青年部会会長挨拶

部会長 伊東潤一郎  
7行付株式会社 社長

青年部会は発足12年を迎え、55歳未満の機電工業会の会員、後継者および社員で構成され会員相互の親睦連帯をはかり、講習会・研修会・企業視察等の事業を通して富山県の機械・電子・電機工業会の振興発展に寄与するために、青年経済人として相互研鑽に励んでおります

なお、記念講演には石崎産業(株) 代表取締役社長 石崎由則から演題「環境と企業経営」について講演いただいた。



### ＝中欧研修視察旅行報告＝



～中欧研修視察をふり返って～

青年部会長 伊東潤一郎



7月12日～18日の7日間に渡ってポーランド・チェコ・イギリスの3ヶ国を青年部会メンバー総勢16人で視察・訪問してきました。

私にとっての旧東欧訪問は2回目で、出発前のイメージは18年前のいわゆる、暗い、働かない、サービスがないという社会主義そのものでした。しかし、そのイメージは今回の視察で全く異なったものになりました。

現地での企業視察においては、生産性向上の努力や、品質向上に対する取組みなど、日本国内の工場に引けを取らない、いやそれ以上のレベルで取組まれている姿を全ての訪問先様から感じました。また、進出時のお話や工場運営のお話を日本人スタッフの方からお聞きし、日本から現地に駐在されている皆さんの指導の下、日本と変わらぬ生産体制や品質管理があることと、皆様の大変な苦勞を感じることができました。

市内の視察においても、歴史のある町並み、西欧の国と変わらないレベルまで発展した宿泊施設や商店、そしてサービスを感じることができました。まだまだ、インフラの整備などでは遅れた部

分も感じられますが、日本にとっての中国同様に、中欧諸国の足音は確実に我々の背中まで迫ってきていることを強く感じました。

今回の研修視察において、お世話になりました役員・事務局の皆様、視察させて頂いた現地企業様に変感謝致します。

～東邦ポーランド社を視察して～

ファインネクス株式会社 松田龍彦

東邦ポーランド社では、ボールベアリング保持機などが主力の製品ということで、大型プレス機がずらりと並んでおり迫力がありました。材料では、現在でも日本材の品質が安定しており、しかも安いということで驚きました。ベアリングは高寿命が要求されるため、品質の悪い金属では製作できないのでしょうか。バリの出ないプレス抜きや、樹脂成型品、など色々トライしておられて素晴らしく感じられました。現地での金型調整も進んでいるとのことでした。ベアリングは自動車関連であり、トヨタ生産方式のカンバン化や、もの





の流れ、掲示物など、工夫されている部分も多々あり勉強になりました。稼動から3年程ということで、これから益々充実されていくであろう活気のある工場でした。今回の視察により、東欧でのものづくりの一端を肌で感じる事ができました。

### ～NSKイスクラ社を視察して～

藤堂工業株式会社 南保俊明



NSKイスクラ社は、首都ワルシャワから真南に約125kmのキェルツェ市にあり、ポーランドの国営企業から民営化した玉軸受工場を1998年に買収

し、イギリスのNSKピータリー工場から生産移管した軸受の製造を鍛造から組立まで行っている会社です。

見学させて頂いた工場は400m×125mの平屋で一直線に工程が配置されており、片側の通用口から対面の通用口が小さく見えてしまう程の長い直線距離にも驚かされました。広く長い工場内に多くの設備が稼働している中、どの工程を見ても作業者の人数が少なく、自動化やライン化による無人化、搬送レス等、あらゆる合理化にも驚きました。また、技術を移管するのみでは上手くいかず、人を育てることが最も重要であるということ、そして、この人造りが出来た故に、日本のNSKのものづくり文化がイスクラ工場へも完全に移植され、社会主義国家での保護された企業から世界規模レベルの企業へと変革できたのだらうと感じました。

### ～ナチ・チェコ社を視察して～

澤川鍛造工業株式会社 澤川幸利



ナチ・チェコ社を視察させて頂いて印象に残ったことが3つありました。

1つ目は、工場内が汚れひとつなくきれいに整理されていたこと

です。外径研削と幅研削の設備を見せて頂いた際、まだ稼動していない設備と感じる程、清掃がされているのに驚きました。汚れやすい工程だからこそ常に清潔に維持しなくてはならないという考え方よりも、汚れやすい工程だと思い込んでしまう考え方の間違いを感じました。

2つ目は、工場内の柱に作業手順書が取付けられていたことです。一般的であれば、作業手順書は作業台の前に掲示してあったり、作業台の下の棚にしまっていたりすると思うのですが、ここでは柱に取り付けてありました。必要な時にすぐに閲覧できる工夫がされており、是非当社でもやってみようと思いました。

3つ目は、パンフレットに従業員全員の顔が紹介されていたことです。会社紹介のパンフレットに、社員全員の方々が顔写真入りで紹介されており、社員の方々の表情は照れくささと喜びが入り交ざった表情でありました。「会社のパンフレットに自分の顔が掲載される。」これだけで社員の方々は自分の存在を会社に認めてもらったと感じ、何事にも代えがたい喜びになると思います。次回会社紹介のパンフレットを作成する際は、是非、社員全員の顔を掲載しようと思います。

### ～豊田合成チェコ社を視察して～

株式会社石金精機 清水克洋

豊田合成チェコはクラシュテレッツ市ヴェルン工業団地内にあり製造品目はハンドル、エアバック等のセーフティシステムです。



川北社長から会社概要、経営方針の説明を受け、その中で強く感じたのは、品質を最も重要視され、その指針や理念が社員に徹底されているということでした。事実、不良発生率の数値が、操業時の2002年の398PPMから、2005年には4PPMに減少し、2006年には、ゼロPPMということでした。

実際に工場を拝見しゼロPPM達成の方策として、「①ビジュアルボードによる変化点管理の充実②自工程完結型の品質保証にむけた作業者のモチベーション向上③現地エンジニアによる不良対策の推進」を実際の作業現場において強く感じる事が出来ました。とくに『いつもと何が違うているのか!!』ということを目で分かるようにしたビジュアルボードには非常に感銘を受け、当社でもすぐに取り入れたいと思い、どのような手法で取り入れることが出来るかを現在思案中です。加工者の変更、加工機の変更、そして工程の変更。どれ一つをとっても、不良を発生させる可能性の



高くなるものばかりですから、それらを十分に管理することが不良率低下に直結していくことを勉強させて頂きました。

## 中小企業との対話集会を開催

平成18年6月7日（水）富山県民会館で、富山県は業界の生の声を聴き今後の施策に反映させるため、中小企業を対象に「平成18年度中小企業との対話」を開催され、当工業会から18名が出席し、全体で80名余りが参加した。

### ◎当工業会からの要望（県の回答）

- ・補助申請の簡素化（使い勝手の制度・実態を対応）
- ・企業誘致の積極的対応（物流・インフラ・人材等PR）
- ・設備投資の支援拡大（融資条件引き上げ、具体策）
- ・トライアル発注制度の拡大（民間企業に制度趣旨活用）
- ・中小企業向け金融政策（知的財産・動産担保等）
- ・IT関連産業の育成強化（企業未来塾等で定着）
- ・社員教育のサポート策（企業への出前研修、講習）
- ・営業マン教育等の新設（新しい教育講座として）

◎全般について、県は企画に対応したフォローアップを見えるように望む。

- ・県の施策、とくに補助金や各種支援金には、縛り（書類等の煩雑さ）が多く、中小企業にとっては申請前の心理的負担が大きい。
- ・県知事の出席への要望。



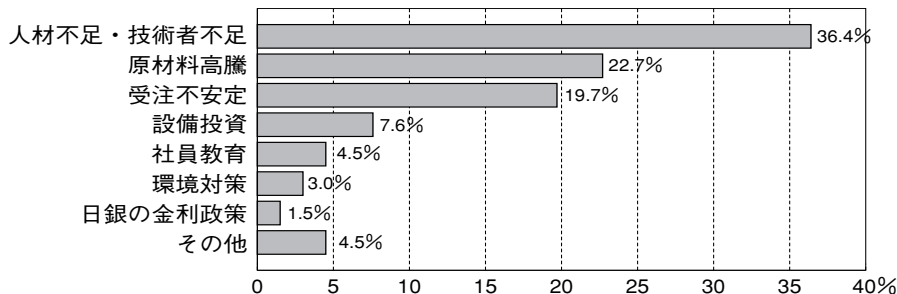
## 業況（DI）調査結果について

今回の調査は、機電産業等分野の業況をタイムリーに把握し、当工業会の事業活動や経営資料として活用する目的として実施いたしました。回収率は46.9%（会員数228社／回収数107社）

DI（Dufusion Index）売上高増加 37.4（%）の割合から、減少 20.5（%）の割合を差引いたもの。

調査項目	2006年7月調査			
	増加	横ばい	減少	DI
1. 売上高	37.4	42.1	20.5	16.9
2. 受注、販売価格	8.2	64.7	27.1	▲18.9
3. 収益状況	9.3	57.9	32.7	▲23.4
4. 原材料単価	0.0	19.8	80.2	▲80.2
5. 原油等の影響度	10.4	45.3	44.3	▲33.9
6. 取引条件	1.9	92.5	5.6	▲3.7
7. 受注残高	31.7	47.1	21.2	10.5
8. 操業率	21.6	66.7	11.8	9.8
9. 資金繰り	7.5	84.9	7.5	0
10. 生産設備	29.1	64.1	6.8	22.3
11. 来期の受注	21.9	61.0	17.1	4.8
12. 来期の採算	13.3	72.4	14.3	▲1.0
13. 来期の資金繰り	11.5	77.9	10.6	0.9
14. 求人充足度	52.8	43.4	3.8	49.0
15. 正規社員比率	11.3	13.2	30.2	45.3
16. 派遣社員等比率	3.0	12.0	20.0	65.0
17. パート社員比率	2.9	3.9	9.7	83.5
18. 継続雇用者比率	5.9	1.2	10.6	82.4

### ■経営上の課題



### ■項目No.

- 1～10（2005年下期対比）
- 11～13（2006年7月対下期見込み）
- 14～18（2006年7月現在）

### ■次回調査

平成18年度上期動向に対する下期比について、10月頃に調査を予定する。

# 行事予定(平成18年9月～11月)

## 参加者募集

### ■ NEAR2006 in とやま

(流通部会および会員会社)

- 時期：平成18年9月6日(水)～9月7日(木)
- 場所：富山産業展示館
- 対象：全会員
- 内容：環日本海・北東アジア経済交流EXPO2006 in とやま  
中国各地域・韓国・ロシア・モンゴル総126社の  
部品・材料展および投資環境説明会  
7日：パネルディスカッション  
「富山県中国進出企業に学ぶ対中ビジネス成功  
のポイント」  
パネリスト(インテック、スキノマシン、北陸電気工業、  
日本貿易振興機構)

### ■ 国際物流総合展

(流通部会)

- 時期：平成18年9月14日(木)
- 場所：東京ビックサイト
- 対象：会員(15名程度)
- 内容：内外の最新物流機器、システム、情報等ソフト  
とハードの展示会の視察

### ■ ものづくり講習会(第2回)を開催

(研修部会)

- 時期：平成18年9月15日(金)～11月24日(金)  
毎金曜日10回開催
- 場所：富山技術交流センター、不二越、スキノマシン、YKK、  
県立大学、ホリテカレッジ
- 対象：会員及び非会員(先着50名)
- 内容：講習会日程表(6ページ参照)

### ■ 大学交流会を開催

(交流部会)

- 時期：平成18年9月28日(木) 13:30～16:00
- 場所：北陸先端科学技術大学院大学
- 対象：会員(15名程度)
- 内容：大学概要説明、研究室、学校内見学

### ■ 第3回囲碁大会

(総務委員会)

- 時期：平成18年9月9日(土) 9:00～15:00
- 場所：コーセル(株)
- 対象：会員(20名程度)

### ■ 京都工業会との交流会を開催

(政策委員会)

- 時期：平成18年10月5日(木)～10月6日(金)
- 場所：カナルパークホテル
- 出席者：京都工業会及び当工業会(各20名程度)
- 内容：5日：不二越、生産技術見学、  
カナルパークホテルにて交流会、懇親会  
6日：県知事表敬、機械電子研究所、広貫堂、日  
立国際電気見学

### ■ 企業見学会

(技術委員会/研修・生産部会)

- 時期：平成18年10月20日(金)～10月21日(土)
- 場所：セイコーエプソン、諏訪圏工業メッセ等
- 対象：会員(25名程度)
- 内容：(20日)セイコーエプソン工場見学、ものづくり道  
場見学等  
(21日)諏訪圏工業メッセ見学

### ■ JIMTO F2006 見学会

(見本市実行委員会)

- 時期：平成18年11月4日(土)～5日(日)
- 場所：東京ビックサイト
- 対象：会員(25名程度)
- 内容：第23回日本国際工作機械見本市

### ■ 第1回海外視察研修会

(総務委員会)

#### 躍進する韓国IT産業及び自動車産業の視察

- 場所：韓国(ソウル近郊、釜山・蔚山・慶州)
- 日程：平成18年11月8日(水)～12日(日)
- 訪問先：(案)水原：韓国JETRO、三星電子広報展示館他  
釜山：現地企業視察 国際市場観光  
蔚山：現代自動車、現代電子  
慶州：世界文化遺産見学、韓国新幹線(KTX)試乗
- 旅行費用：約200,000円(1名1室利用)
- 定員：会員(25名程度)

### ■ 第3回ゴルフ大会

(総務委員会)

- 時期：平成18年10月31日(火) 9:00～16:00
- 場所：富山カントリークラブ
- 対象：会員(40名程度)

# 新会員の募集

## 入会に際して

当会は、機械・電子電機産業と、これらに関連する産業の振興と経済の健全な発展に寄与することを目的としています。

様々な講演会・研修会・イベントを通して、会員の皆様の経営、技術・研究開発、生産活動の充実、そして人材育成に資することを願っています。多くの皆様のご入会をお待ちしております。

## ■入会資格

富山県において機械、電子電気機器、これらに関連する製品の製造、販売、技術サービスの事業を営む個人、または法人。

■入会金 40,000円

## ■会費

会費は、富山県内に所在する事業所の従業員数をベースに算定します。

## ■会費一覧表

- ・会費は、毎年度6月末日までに、全額を納入するものとします。
- ・事業年度の途中に入会した会員の当該年度の会費は、入会以降の月数に左表の月額を掛けた金額とします。
- ・前項の場合、会費の納入については、入会の月の末日までに納入するものとします。

従業員規模	金額(月額)	金額(年額)
301人以上	22,500円	270,000円
201人～300人	13,500円	162,000円
101人～200人	9,000円	108,000円
31人～100人	4,500円	54,000円
1人～30人	2,250円	27,000円

## 入会方法

所定の申込書に必要事項を記入のうえ、事務局まで郵送または持参ください。

理事会の承認を得て、入会の通知をいたします。

入会申込書はホームページより、ダウンロードし印刷してお使いください。

---

## 社団法人 富山県機電工業会

〒930-0866 富山市高田529番地（技術交流センター3F）

TEL 076-442-4021

FAX 076-444-6088

URL <http://www.t-kiden.or.jp>

E-mail [info@t-kiden.or.jp](mailto:info@t-kiden.or.jp)